

がん化学療法レジメン登録申請書

診療科	血液内科	医師名	
PHS		E-MAIL	
がん種	悪性リンパ腫		
レジメン名	(AQ)CHOP		
臨床試験			

根拠となった論文、資料（タイトル、著者名、雑誌名 等）

Fisher RI, Gaynor ER, Dahlberg S, et al. Comparison of a standard regimen (CHOP) with three intensive chemotherapy regimens for advanced non-Hodgkin's lymphoma. N Engl J Med 1993;328:1002-1006

研究デザイン

A	1 ランダム化比較試験	B	2 Prospective	C	1 1st Line
臨床試験名					
臨床試験グループ		Southwest Oncology Group and the Eastern Cooperative Oncology Group			
研究対象となる症例		悪性リンパ腫 進行期ハイリスクの非ホジキンリンパ腫			
研究対象となる治療方法		CHOP vs m-BACOD ProMACE-CytaBOM); MACOP-B			
プライマリーエンドポイント		OS			
セカンダリーエンドポイント					
結果	CHOP 54%@3Y で他の治療群と差がない				
結論	CHOPは他の治療と同等で有害事象が少ない				

推奨度

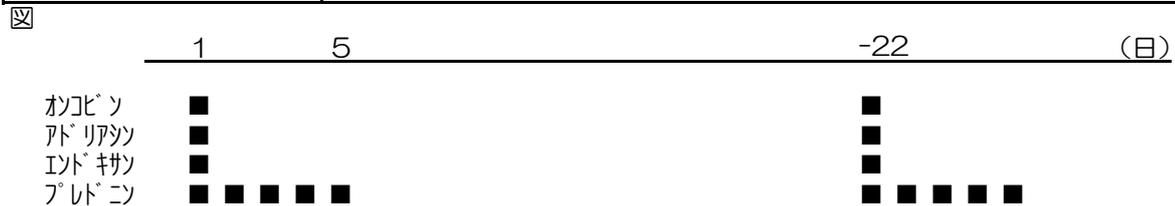
エビデンスレベル	I	勧告のグレード	A	グレード	標準
----------	---	---------	---	------	----

保険適応の無い薬剤

薬剤	備考

投与スケジュール

投与期間 (①)	5日間	休薬期間 (②)	16日関
1コースの期間 (①+②)	21日関		
投与回数コース	6コースから8コース		



処方内容

Rp	薬剤	投与量	投与方法	投与時間 (投与速度)	投与日
1	生食	100ml	点滴	5時間 (ルート確保)	day1
2	カイトリル	3mg	静注	1分	day1
3	オンコピン	1.4mg/m2最大2mg	静注	2分	day1
	生食	20ml			
4	アドリアシン	50mg/m2	点滴	30分	day1
	生食	100ml			
5	エンドキサン	750mg/m2	点滴	3時間	day1
	生食	500ml			
6	プレドニン	100mg	内服	5日間内服	day1-5



主	Rp1	ルート確保
側1	Rp2	IV
	Rp3	IV
	Rp4	30分
側2	Rp5	3時間

副作用情報（頻度、対処法）

項目		頻度（G3以上）	対処方法（減量・中止含む）
血液 毒性	好中球減少	G2-3	G-CSF投与
	血小板減少		
	発熱性好中球減少症		
消化器 症状	悪心	G2	5-HT3受容体拮抗剤
	嘔吐	G2	5-HT3受容体拮抗剤
	下痢		
末梢神経障害		G2	重症の場合には休薬

根拠となる論文あるいは資料以外に参考にした文献・資料

--

備考

--

申請書受理	小グループ審査	審査委員会
2008 7/30 堀	小川	2009/3/26
審査結果		
承認		

病院端末			薬剤部門システム	
登録	確認		登録	確認

薬剤部へ送付（pharmacychemo@hama-med.ac.jp）